

# 令和3年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標
1	<p>WITH コロナ・POST コロナに対応した新たな食関連産業・農林水産業を展開します。</p>	<p>① <u>国内外における府内産農林水産物・加工品（京もの）のブランド力・販売力を強化します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食の外部化やネット通販の一般化、コロナ禍による外食から中食・内食へのシフトなど、ライフスタイルや消費動向の変化へ素早く対応し、国内の「中食」マーケットにおけるビジネスモデルの構築や宇治茶・日本酒・京野菜・牛肉等の海外販路の拡大を推進します。          &lt;目標：輸出体制を強化・開拓するための国別、品目別の販売促進などによる輸出額 20 億円（R2：16 億円）&gt;</li> <li>○ 食関連産業やインターネットビジネスなどが参画する「京都食ビジネスプラットフォーム」を設置し、農林水産物の生産から加工・製造、販売・飲食、しつらえ、流通に至るまで、京ブランドサプライチェーンを構築します。          &lt;目標：「京都食ビジネスプラットフォーム」の活用による「京都プレミアム中食」の開発 30 件&gt;</li> </ul> <p>② <u>産・学・公・民が連携した研究・開発を推進し、社会情勢の変化に対応した食関連産業・農林水産業のイノベーションを展開します。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「未来の中食を科学するオープンイノベーションラボ」基本計画を策定し、食品関連企業、大学・専門学校、行政がコラボし、食品の健康機能性や地域の農産物を用いた加工品の加工・保存などの技術研究を行うオープンイノベーションラボの整備を進めます。          &lt;目標：「未来の中食を科学するオープンイノベーションラボ」基本計画の策定&gt;</li> <li>○ 農林水産技術センター機能強化基本構想を策定し、農林水産技術センターを、スマート技術等の先端技術の研究・開発や農業・林業大学校等との連携など、農林水産業の成長産業化を実現する拠点施設として機能強化を図ります。          &lt;目標：農林水産技術センター機能強化基本構想の策定&gt;</li> </ul>

# 令和3年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標
2	<p>持続可能な地域農業や新しいビジネスを創出するとともに、スマート技術の活用などにより、農林水産業の成長産業化を推進します。</p>	<p>① <b>複数集落を組織化し、持続可能な地域農業を推進します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 広域的な営農体制の構築や農地管理の外部委託による規模拡大・収益力の向上、さらには企業と連携した人材確保の取組を支援することで、京野菜などの高収益作物生産を実現するメガ団地（100ha農場）の形成を進めます。          &lt;目標：「集落連携 100ha 農場づくり推進チーム」の伴走支援等による営農モデルの構築 4 地区&gt;</li> <li>○ 有害鳥獣に対し、遠隔で監視・操作が可能な檻の設置、捕獲や追い払いへのドローンの活用など、ICT 技術を活用した効果的な対策を行い、生産者が安心して営農できる環境を整備し、持続可能な地域農業を推進します。          &lt;目標：新たな捕獲技術を研究している企業と連携した、現地での効果検証の取組 4 地区&gt;</li> </ul> <p>② <b>宇治茶の市場・販路拡大を図るとともに、収益力の高い宇治茶産地づくりを目指します。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他産地と差別化できる特色を持った「宇治種」への改植を加速化するとともに、需要が堅調な海外市場を開拓するため、輸出相手国の残留農薬基準をクリアした輸出対応茶や有機栽培茶を供給できる産地の育成・拡大を推進します。          &lt;目標：「やぶきた」等からの宇治種への転換面積 12ha（R2：11ha）&gt;          &lt;目標：宇治茶輸出額 11 億円（R2：10 億円）&gt;</li> </ul> <p>③ <b>府内産農林水産物の新たなブランド化に取り組みます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 京都府オリジナルブランド米「京式部」の高級料理店等での新米販売キャンペーンや、おいしい米コンテストの開催などの重点 PR による「京の米」の高品質化と知名度向上や、付加価値の高い新たな養殖魚種の導入に向けた、天然もので評価の高い「金あじ」の生産技術の確立など、府内産農林水産物の新たなブランド化に取り組みます。          &lt;目標：京のブランド産品販売額 20 億円（R2：15 億円）&gt;          &lt;目標：「京式部」を販売する店舗 50 店舗&gt;</li> </ul>

## 令和3年度 農林水産部 重点目標

	重点事項	成果目標
2		<p><b>④ 京都の独自性や地域性を生かした農林水産業ビジネスを創出します。</b></p> <p>○ 「食の京都」をキーワードに、府内各地域のいちおし食材を活用した魅力向上、消費地での認知度向上を図り、府域共通の観光資源でもある「食」を目的とした広域的な観光誘客や、府域から京都市内への物流の促進により、新たな農林水産業ビジネスを創出します。</p> <p style="padding-left: 20px;">＜目標：農林水産物直売所等にイトイン機能等を備えた「食の京都 TABLE」の整備による売上額 5億円（R2：3.8億円）＞</p> <p style="padding-left: 20px;">＜目標：地域の「いちおし食材」を活用した新メニュー等の開発品目数 20品目＞</p> <p><b>⑤ 行政と林業事業者が連携し、持続可能な林業経営の確立を目指します。</b></p> <p>○ 「森林経営管理制度」の着実な取組を通じて、集約化された森林施業団地を増やすとともに、高性能林業機械やドローンなどの ICT を活用した効率的な施業を推進することで林業事業者の経営力向上を図り、主伐による素材生産量増加と確実な再生林によって、持続可能な林業経営を展開します。</p> <p style="padding-left: 20px;">＜目標：「森林経営管理制度」により、森林整備を林業事業者に委託する市町村 10市町村（R2：2市町村）＞</p> <p style="padding-left: 20px;">＜目標：高性能林業機械の導入など経営力向上に取り組む林業事業者 25事業者（R2：18事業者）＞</p> <p><b>⑥ 府内の木材シェアの6割を目指して、府内産木材の利用を促進します。</b></p> <p>○ 住宅用建材に加え、商業施設や観光施設等の非住宅分野への新たな需要開拓を図るため、商工関係団体を始め、林業関係、建築関係などの参画による「府民会議」の設置を進め、川上から川下まで一体的な取組により、建築物での府内産木材利用の大幅アップを目指します。</p> <p style="padding-left: 20px;">＜目標：府内産木材認証制度の証明材を取り扱う新規事業者 30事業者（R2：15事業者）＞</p> <p style="padding-left: 20px;">＜目標：ジョイントにより、計画的な需給体制の構築に取り組む木材加工業者と工務店等 100事業者（R2：95事業者）＞</p>